

挑戦、遺伝子治療から美容まで

大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学
森下竜一

現在の日本は、超高齢社会であることが最大のアセットである。単純に長寿であるということだけでなく、健康で美しいことが我々の望みであろう。まさに、美と健康産業は経済再生の一つの柱である。私の所属している規制改革会議では、再生医療推進のために薬事法の改正を提言するとともに、サプリメントに機能性表示を認めることを勧告し、閣議決定された。また、機能性表示農作物も解禁されることが決まり、今後の市場拡大が期待される。アンチエイジング医療も、長寿国日本発の海外へのキラコンテツとして期待される。本セミナーでは、最先端の国内外のアンチエイジング情報について解説し、今注目の、再生医療や遺伝子診断など美容・健康分野への応用にも言及したい。

略歴

昭和 37 年 5 月	岡山県生まれ
昭和 62 年 3 月	大阪大学医学部 卒業
平成 3 年 3 月	大阪大学医学部老年病講座大学院 卒業
平成 3 年 8 月	米国スタンフォード大学循環器科研究員
平成 6 年 4 月	米国スタンフォード大学循環器科客員講師
平成 10 年 10 月	大阪大学大学院医学系研究科遺伝子治療学助教授
平成 15 年 3 月	同 教授（現在に至る）

日本抗加齢医学会、日本高血圧学会、日本血管生物医学会、日本遺伝子治療学会、日本知財学会など各学会の理事を務めるほか、内閣府規制改革会議委員、健康医療戦略本部（本部長安倍晋三内閣総理大臣）戦略参与（いずれも平成 25 年）など、公職を多数歴任。日本で初めて上場した大学発バイオベンチャーアンジェス創業者。